

9/6 渋川市20周年記念事業 第42回渋川へそ祭り
軽快な音頭とステップがまちを彩る

当日の様子を収めた動画はこちら▶



新町五差路周辺で「第42回渋川へそ祭り」が開催され、7万9千人が来場しました。パレード以外の時間帯には、軽やかなダンスや迫力ある和太鼓など、多彩なパフォーマンスが次々と披露され、観客を魅了。夕方に行われたメインイベントのへそ踊りパレードでは、約540人の踊り手が参加し、掛け声に合わせて軽快なステップを踏み、祭りを盛り上げました。



9/16 手話言語の国際デー啓発イベント・セレモニー
手話が言語である認識を広める



市役所本庁舎市民ホールで「手話言語の国際デー」に係るイベントとセレモニーが開催されました。これは、市・吉岡町・榛東村の3市町村の共催で、手話言語の国際デーを盛り上げ、趣旨を周知することを目的としています。来場者は、手話体験やパネル展示を通じて、手話の理解を深めたり、手話で語り合ったりして交流する姿が見られ、誰もが心通い合う場となりました。

—〈表紙の紹介〉—

8/28 渋川市20周年記念事業 シニアeスポーツイベント
ゲームを通じて心も体も元気に

市民会館で、シニアeスポーツイベントを開催しました。このイベントは、リズムゲームやドライビングシミュレーターなど、地域住民の交流促進に効果が期待されるeスポーツ体験のほか、元気度チェックや脳トレ体験などを実施。参加者は、各ブースを回り、ゲームや参加者同士の交流を楽しみ、自身の健康意識を高めていました。



8/25 選挙を目前に高校生による街頭啓発活動
渋川駅前広場で投票を呼びかける9人の生徒

8月31日に執行された渋川市長選挙を目前に、渋川駅前広場で、市内の高校に通う9人の生徒が、市選挙管理委員とともに、啓発品配布による街頭啓発活動を行いました。「忘れずに投票を」の声かけとともに、用意された500セットを配布。参加した生徒の一人は「選挙はこれからの自身の生活にも関わってくる。関心を持つ人が少しでも増えてくれれば」と話していました。



8/23 「吾妻川、石の博物館」教室
探した石で岩石標本づくり



小中学生を対象に、小野子地内の河川敷で石や砂を採り、岩石標本を製作する教室を開催しました。吾妻川は、さまざまな種類の石があり、良質の砂鉄が採れます。参加した20人は、講師のぐんま地質・岩石研究会員に確認してもらいながら、気になる石を採取。岩石の成り立ちや構造などを学び、12種類の岩石を収めた標本を持ち帰りました。

9/13 しぶかわアニバーサリーフェスタ
食と音楽と芸術を楽しむ1日

市民会館で、渋川市20周年を祝う「食」「音楽」「芸術」をテーマにした催しが行われました。地域おこし協力隊員が中心となって企画したもので、eスポーツ体験や、地元農家の協力による野菜詰め放題、ステージ発表などの多彩な内容に、多くの人が来場。運営に高校生、大学生なども参加し、若い世代も協力してイベントを盛り上げました。

